

第 26 回時計技能競技全国大会

■募集要項

[1. 競技日程]

11 月 21 日 (木)	14 : 00	選手集合・席順抽選
	15 : 00～	開会式
	15 : 30～	準備
	17 : 00	解散
11 月 22 日 (金)	8 : 30	選手集合
	8 : 30～	人員点呼
	8 : 40～	競技の説明
	9 : 30	競技課題 I の開始
	12 : 30	競技課題 I の打ち切り
	12 : 30～	昼食
	13 : 20	着席
	13 : 30	競技課題 II の開始
	17 : 30	課題 II の打ち切り
	17 : 30～	片付け・梱包
	18 : 00	解散
11 月 23 日 (土)	8 : 50	集合
	9 : 00～	閉会式・表彰式
	11 : 00	解散

[2. 競技開催会場]

近江神宮内 「近江勸学館」

〒520 - 0015 滋賀県大津市神宮町 1 - 1

TEL : 077 - 524 - 3940 FAX : 077 - 522 - 3618

[3. 競技課題概略及び制限時間]

○第一部門

- ・課題 I (CITIZEN Cal. H500 - 00M)

クオーツクロノグラフの故障診断修理とオーバーホール・電気特性等の計測・等

- ・課題 II (CITIZEN Cal. 8200 - 21A)

機械式時計の故障診断修理とオーバーホール・時間調整・等

※制限時間 7 時間 (課題 I は競技開始から 3 時間以内に提出すること)

○第二部門

- ・課題 I (CITIZEN Cal. H500 - 00M)

クオーツクロノグラフの故障診断修理とオーバーホール・電気特性等の計測・等

※制限時間 3 時間

[4. 募集期間]

募集開始 : 平成 25 年 7 月 2 日 (火) AM10 : 00～

募集締め切り：平成 25 年 7 月 18 日（木）PM5：00（時間厳守）

[5. 申し込み方法]

別紙申し込み用紙に必要事項を記載し、上記期間中に申込書を FAX 送付してください。

[6. 問い合わせ先]

ジョウ・ジャパン事務局

TEL：03 - 3833 - 7821 FAX：03 - 3833 - 7823

第 26 回時計技能競技全国大会開催要綱

■開催要項

名称：第 26 回時計技能競技全国大会

主催：ジョウ・ジャパン（全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合）

後援：厚生労働省／滋賀県／中央職業能力開発協会／（一社）日本時計協会

日時：平成 25 年	11 月 21 日（木）	開会式	午後 3 時 00 分
	22 日（金）	競技	午前 8 時 30 分
	23 日（土）	表彰式	午前 9 時
		閉会式	

会場：〒520 - 0015 滋賀県大津市神宮前 1 - 1

近江勸学館 TEL：077 - 524 - 3940 FAX：077 - 522 - 3618

競技部門：

○第一部門（メカ・クォーツ）

課題Ⅰ	シチズン Cal. H500 - 00M	アナログ表示水晶腕時計、 ソーラー・クロノグラフ機能、日付き
課題Ⅱ	シチズン Cal. 8200 - 21A	機械式自動巻き腕時計、日・曜付き

○第二部門（クォーツ）

課題Ⅰ	シチズン Cal. H500 - 00M	アナログ表示水晶腕時計、 ソーラー・クロノグラフ機能、日付き
-----	----------------------	-----------------------------------

表彰：

○第一部門（メカ・クォーツ）

優勝：厚生労働大臣賞
準優勝：中央職業能力開発協会会長賞
優秀賞：JOW・Japan 理事長賞
技能賞：JOW・Japan 競技委員長賞

○第二部門 優勝：厚生労働省職業能力開発局長賞

準優勝：（一社）日本時計協会会長賞
優秀賞：JOW・Japan 理事長賞
技能賞：JOW・Japan 競技委員長賞

※参加賞：各自が競技に使用した時計

第一部門参加者：メカ時計、第二部門参加者：クォーツ時計

参加費：

○第一部門 1名 29,000円(消費税込)

○第二部門 1名 22,000円(消費税込)

※参加費の返却について：9月25日(水)以降の辞退は返却しない。

参加資格：特に問わない(進行は日本語で行う)

参加人数：各部門とも20名を上限とする。但し、両部門の合計人数が40名を超えた場合は調整を行う。

申込〆切：平成25年7月18日(木)FAXの申込可

[結果]

第26回の時計技能競技全国大会(主催=全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合=ジョウ・ジャパン、後援=厚生労働省、滋賀県、中央職業能力開発協会、(一社)日本時計協会)は11月21日から23日までの3日間、例年通り、滋賀県大津市の近江勸学館で開催された。

今大会は、11月21日の開会式を皮切りに23日の表彰式・閉会式まで、三日間とも好天に恵まれる中、滞りなく行われた。競技は全国から32名の参加者が集い、第1部門(機械式時計、クォーツ時計)24名と第2部門(クォーツ時計)8名に分かれて競われた。開会式は、鴨下運営委員の司会により始まり、近藤大会会長(ジョウ・ジャパン理事長)があいさつを述べた。続いて、近江神宮宮司・近江時計眼鏡宝飾専門学校校長佐藤久忠氏が参加者を激励した。

競技は7時間にわたり第1部門(機械式時計、クォーツ時計)、第2部門(クォーツ時計)に分かれ、日々の技術を競った。

最終日の閉会式では藪内大会副会長(ジョウ・ジャパン副理事長)が開催協力に対する謝辞を述べるとともに参加者へ慰労の言葉をかけた。続いて、来賓として(一社)日本時計協会の佐藤孝雄専務理事、佐藤久忠氏がそれぞれ祝辞を述べ、参加者たちの努力を称えた。

入賞者は次の通り(敬称略)。

■第一部門

優勝=厚生労働大臣賞 木下峻裕(きのしたたかひろ)シチズン時計マニュファクチャリング(株)

準優勝=中央職業能力開発協会会長賞 塩沢和明(しおざわかずあき)シチズン時計マニュファクチャリング(株)

優秀賞=全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合理事長賞 湯澤大(ゆざわだい)シチズン時計マニュファクチャリング(株)

技能賞=全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合競技委員長賞 向谷崇(むかいだにたかし)セイコーサービスセンター(株)

■第二部門

優勝=厚生労働省職業能力開発局長賞 牧野哲郎(まきのてつろう)近江時計眼鏡宝飾専門学校

準優勝=(一社)日本時計協会会長賞 牛山天晴(うしやまたかはる)シチズン時計マニュファクチャリング(株)

優秀賞=全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合理事長賞 相浦大希(あいうらともき)妙高プレジジョン(株)

技能賞=全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合競技委員長賞 日下部敏行(くさかべとしゆき)近江時計眼鏡宝飾専門学校